

私は 2018 年 7 月に对外経済貿易大学のロースクールを卒業し、亜細亜友之会外語学院に入学して大学院進学するための日本語の勉強を始めました。2019 年 10 月に早稲田大学の法学研究科に合格しました。短期間で合格できたのは学校の先生方、先輩方と仲間達のサポートと支えがあったからです。ここで、私が入学試験の準備段階で得た経験や感想を皆さんと共有し、少しでも皆さんの役に立てれば幸いです。

大学院進学するにあたって、最も重要なことは自分の方向性を明確にすることです。来日して間もない頃、自分の将来について迷っていました。専攻を変更するのも考えましたが、最後はやはり法律専攻にしました。一度に多くの選択肢を突き付けられた時、人は迷います。この場合、できる限り多くの情報を収集し、周りから多くの意見を取り入れると良いでしょう。もちろん、最後は慎重に決断をするのは自分しかいないのです。そうすることによって、たとえ進学の過程が大変だったとしても、自分のなかではっきりとした目標があって、それに向かって頑張れるのです。さきほども触れましたが、多くの方が選択の前で迷いがちです。しかし、この迷う時期があまりにも長く続くことは、試験準備に割ける時間が次第に少なくなることを意味します。目標を早めに決めることができれば、その分プレッシャーが少なくなります。学校では、個々の受験生の動向をきちんと把握しています。一人の受験生として、私は自らが積極的に動くことがとても大事だと思います。学校はあくまでもサポート役だと思ってください。

先輩の話によれば、法学のような社会科学の研究は自然科学の研究に比べ、努力と積み重ねが結果に大きく影響します。普段コツコツと知識を積み重ねるのが非常に大切です。そのため、法学を専攻にしたいのであれば、相当の努力を払わないと合格は不可能だと私は思います。

研究計画書もしくは小論文の作成にあたって、まず自分の興味ある分野からテーマを選びます。次に、大量の文献の閲覧と整理が必要になります。最後は頭の中でまとまった考えを文章化していきます。この順番は私が今でも使っています。最初の頃はなかなか難しいかもしれませんが、この通りにやるといって、自分を厳しく管理する姿勢が重要です。時々、その論文に書かれている内容がすべて正論に見えます。そのたび、自分が選んだテーマが良くない、もしくは自分の持論が正しくないかと自信を無くします。このような状況こそ、質の良い論文を読み、論文そのものの因果関係から一歩下がって、新しい可能性、もしくは突破口を探すべきではないでしょうか。専門知識の部分では、大学ごとに出题傾向が違ってきますので、大学別で準備を進める必要があります。準備段階では、出题範囲内のメジャーな論文の閲覧、小論文の対策と各大学の過去問を解く作業が重要です。その他、文章を書く練習とロジック性を鍛える練習も大切です。

人の考えは言葉を通して現れます。知識の蓄積は重要ですが、言葉での交流も大切です。入学試験では、筆記試験は勿論、教授に送るメールも時には可否にかかわるポイントとなります。母国語以外の言葉で自分の考えをより正確に表現する事がとても重要です。面接の事前練習と準備をしっかりやっておけば過度の心配は必要ないと思います。面接では、間違った日本語で答えてしまうことを恐れず、面接官とのコミュニケーションを楽しみ、話すこと自体を恐れない事が非常に大切だと私は思います。事前に練習しておいた質問に面接官を誘導するのも良いかもしれません。各大学が求める日本語能力を募集要項でよく確認してください。留学試験の日本語科目の成績をないがしろにしてはなりません。私の場合、早稲田大学の入学試験の準備段階で N2 にしか合格できていませんでした(早稲田大学の法学研究科に応募するには N1 合格が条件です)。幸い、私が受けた留学試験の日本語の成績が大学の求めているレベルに達していました。準備段階では、自分に有利なことをできる限りやっておくことは間違いありません。日本語の勉強においては、良い点数を取ることはすべてではなく、出願の際クリアしなければならない必須条件の一つだと思ってください。日本語を勉強する環境が整っている中、この有利な条件を活用し、良い成績を取る事だけに気を遣うというより、勉強を楽しむことが大事だと思います。

亜細亜友之会外語学院たくさんの素晴らしい先生と仲間に出会いました。研究計画書の作成と面接練習において、大澤先生、宮原先生と岩崎先生からたくさんご指導を頂きました。作文と思考能力を鍛える面では久保先生から多くのアドバイスを頂きました。大学院進学クラスに入る前に専任の村岡先生と多くの担当先生が日本語の勉強においてご尽力くださいました。また、卒業生の丁文

杰法学博士先輩と許振奮先輩から多くの法学専門の受験対策を頂きました。入試準備の段階では多くの先生方と仲間と交流を深め、皆さんには積極的に困難に立ち向かうよう頑張ってもらいたいです。皆さんが理想の学校に合格できるようお祈りします。

聖翔聖文之会外語学院